

アコヤガイモニタリング調査結果

(調査日：令和3年4月22日)

愛媛県農林水産研究所水産研究センター

1 調査結果の概要

- ・栄養の蓄積状態を示す貝柱のグリコーゲン含量は漁場によってばらつきがあるものの、全海域の平均値では3.1%となっており、状態は概ね良好であった。
- ・貝殻異常については、褐変はないものの、一部の貝に昨年からの回復の痕と考えられる段がみられる。
- ・貝柱の赤変個体は確認されず、赤変度合を示すa値の平均値は低かった。

2 調査結果一覧

漁場 ^{*1}	貝の種類 (R2産)	グリコーゲン含量 平均値 (%)	a 値 平均値	赤変個体 (個)	褐変個体 出現率
北部	日中交雑貝 ^{*2}	1.9(3.2)	-0.7(-0.4)	0	0%
中部①	日中交雑貝	2.5(2.6)	-0.1(0.2)	0	0%
中部②	日中交雑貝	3.0(1.6)	-0.7(-1.6)	0	0%
南部	日本貝	3.8(2.9)	-1.3(0.0)	0	0%
南部	日中交雑貝	4.5(4.6)	-0.1(0.1)	0	0%
平均値		3.1(3.0)	-0.6(-0.3)		

*1 漁場： 北部：三浦半島以北 中部：由良半島から三浦半島 南部：由良半島以南

*2 日中交雑貝：日本貝と中国貝の交雑貝

() 内は昨年同月の値

3 調査方法

- ・4月から11月まで月1回(概ね第3週)、各漁場・種類毎に20個を調査。
- ・愛媛県漁業協同組合宇和島事業部が、調査日2日前を目処に上記漁場で採取して持ち込んだアコヤガイ母貝(2年貝)をサンプルとした。

4 調査項目および判断指標

- ・グリコーゲン含量(%): アコヤガイの栄養蓄積状態を示す指標で、数値が高いほど良好。
- ・a値: 閉殻筋(貝柱)の赤色度を示す指標で、数値が高いほど赤みが強い。
赤みを帯びた黄色で3、明らかな赤色で5以上。